

追加型投信／内外／株式 いちよし・インベスコ 世界中小型成長株ファンド

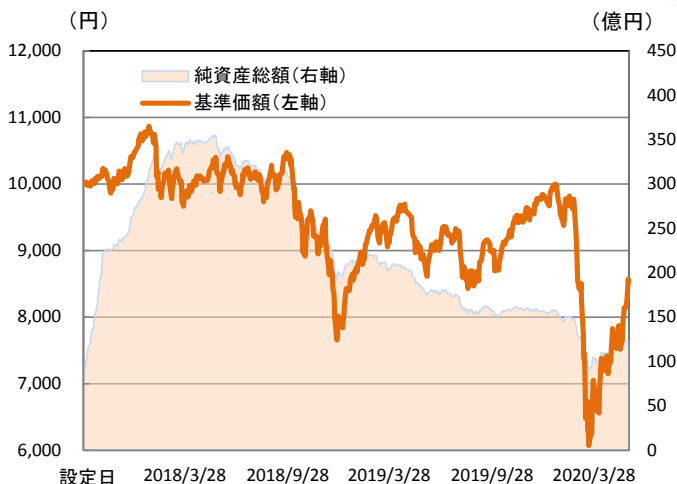
愛称： **なないろ**

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

以下の指定投資信託証券への投資を通じて、世界各国の中小型株式を実質的な投資対象とし、国内株式30%、海外株式70%を基本比率とします。

- ・国内株式：いちよし日本中小型株ファンド(適格機関投資家専用)
- ・海外株式：インベスコ グローバル中小型株式ファンド(適格機関投資家限定)

運用実績



※基準価額は1万口当たりの金額です。
※基準価額は信託報酬控除後のものです。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果を約束するものではありません。

基準価額	8,524円
(前月末比)	+ 696円
純資産総額	123.3億円

ファンド・データ

- 設定日：2017年9月28日
- 信託期間：2027年9月28日まで
- 決算日：毎年9月28日
(休業日の場合は翌営業日)

■資産別構成比

資産	比率
いちよし日本中小型株ファンド(適格機関投資家専用)	29.6%
インベスコ グローバル中小型株式ファンド(適格機関投資家限定)	69.7%
コール・ローン等	0.7%
合計(純資産総額)	100.0%

※コール・ローン等には未収・未払金が含まれます。

■ファンド騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
+ 8.89%	- 0.27%	- 11.64%	- 2.92%	-	- 14.76%

※ファンドの騰落率は、課税前分配金を再投資したものとして計算しています。

※設定来については、設定時の基準価額10,000円を基準にして計算しています。

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

■分配金実績(1万口あたり、課税前)

2018年9月	2019年9月	-	-	設定来累計
0円	0円	-	-	0円

※分配金実績は将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

いちよし日本中小型株ファンド(適格機関投資家専用)

ファンド騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
+ 11.35%	+ 16.07%	- 4.31%	+ 5.76%	-	+ 3.21%

組入上位10銘柄 (銘柄数:71銘柄)

コード	銘柄	業種	組入比率
1 6754	アンリツ	電気機器	3.9%
2 6145	NITTOKU	機械	2.7%
3 9692	シーイーシー	情報・通信業	2.7%
4 6532	ペイカレント・コンサルティング	サービス業	2.4%
5 3697	SHIFT	情報・通信業	2.4%
6 6640	第一精工	電気機器	2.4%
7 3769	GMOペイメントゲートウェイ	情報・通信業	2.3%
8 9474	ゼンリン	情報・通信業	2.2%
9 3844	コムチュア	情報・通信業	2.1%
10 4587	ペプチドリーム	医薬品	2.1%

※組入比率は、マザーファンド純資産総額を100%として計算した値です。

業種別配分

業種	組入比率
情報・通信業	21.8%
サービス業	17.2%
電気機器	13.8%
機械	9.9%
化学	6.9%
小売業	4.4%
卸売業	4.3%
建設業	2.2%
医薬品	2.1%
金属製品	1.7%

※組入比率は、マザーファンド純資産総額を100%として計算した値です。

※業種は東証33業種分類に基づきます。

市場別配分

市場	組入比率
東証一部	83.8%
東証二部	0.6%
JASDAQ	5.5%
マザーズ	4.3%
コール・ローン等	5.9%
合計	100.0%

※コール・ローン等には未収・未払金が含まれます。

※組入比率は、マザーファンド純資産総額を100%として計算した値です。

小数点以下第2位を四捨五入しているため、足し合わせても100%に一致しないことがあります。

■ファンドマネージャーのコメント

世界的に経済再開への出口戦略の具体的な動きが始まっており、内外株式市場は、欧米で経済活動の再開に向けた政策対応がしっかり取られていることなどが好まれて上昇しました。国内においても緊急事態宣言が段階的に解除されたことで、経済活動再開への期待から、月末にかけて日経平均株価の上昇基調が強まりました。国内株全般が3月下旬に底値を付けて上昇基調に転じましたが、3月の下落で大きく下落した業種・銘柄の上昇が目立ち、月末にかけては先行して株価が戻ったクロス株をバリュー株がアウトパフォームする動きとなりました。今後は、感染の第二波、第三波への懸念との綱引きも想定され、新型コロナウイルスの治療薬、ワクチンの開発状況や、これまで類を見ない形での経済環境の急変による実体経済悪化の状況、米中問題の行方等に注視しながらの展開が見込まれます。株価は底値からは回復していますが、中小型成長企業の株価は依然、中期成長に対して大きくディスカウントされた銘柄も多い状況と認識しています。経済活動再開への動きが進む過程で、過剰流動性相場の色合いが強まり、中期的にはグロース株、中小型株優位の展開への回帰を見込んでいます。引き続き世界的なマクロ統計動向や、企業の業績変化、変化への対応等の見極めは必要不可欠ですが、中長期を見据えた中小型成長株への期待に変化はないと考えており、コロナ後の世界、変化を想定しながら、中期的な成長期待に対して短期での業績変動や需給要因等により過度に下落している有望な中小型成長銘柄等については中長期での組入れ好機として捉え、銘柄選別に注力していきます。

当ファンドでは、不安定な投資環境を慎重に見極めながら、中長期視点で株価の割安感が強まっている国内中小型・新興市場において、マクロ環境変化に大きく左右されず、独自の成長を続けている投資魅力の高い中小型成長銘柄に注目していきます。中小型成長株の発掘で高い実績を持つ、株式会社いちよし経済研究所のリサーチ力を十分活用しながら、ボトムアップ・リサーチにより、最適なポートフォリオの維持に努め、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行ってまいります。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い致します。

設定・運用はいちよしアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第426号

【加入協会】一般社団法人 投資信託協会 / 一般社団法人 日本投資顧問業協会

※このレポートの最終ページ「この資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご覧下さい。

追加型投信／内外／株式 いちよし・インベスコ 世界中小型成長株ファンド

愛称： **たないろ**

インベスコ グローバル中小型株式ファンド(適格機関投資家限定)

ファンド騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
+8.07%	-6.86%	-14.71%	-5.89%	-	-19.48%

通貨別配分

通貨	組入比率
米ドル	52.02%
ユーロ	26.35%
オーストラリアドル	5.34%
香港ドル	3.21%
その他	11.31%

※組入比率は、マザーファンド純資産総額を100%として計算した値です。

国・地域別配分

国・地域	組入比率
アメリカ	52.26%
オランダ	7.54%
フランス	6.22%
オーストラリア	5.34%
ドイツ	3.99%
イタリア	3.55%
イギリス	3.28%
スペイン	2.30%
その他	13.75%

※組入比率は、マザーファンド純資産総額を100%として計算した値です。

業種別配分

業種	組入比率
資本財	13.25%
半導体・半導体製造装置	8.68%
ヘルスケア機器・サービス	7.65%
ソフトウェア・サービス	7.09%
消費者サービス	5.42%
素材	5.29%
公益事業	5.27%
その他	45.56%

※組入比率は、マザーファンド純資産総額を100%として計算した値です。

組入上位10銘柄(銘柄数:144銘柄)

順位	企業名	国名	組入比率	業種	企業概要
1	アンセル	オーストラリア	1.9%	ヘルスケア機器・サービス	医療用・工業用の手袋メーカー。世界各国でビジネスを展開しており、医療現場や工場での安全性基準の高まりによる中長期な安定成長が見込める。コスト構造や運転資本管理に改善余地がある中、株価は割安な水準で取引されていることに着目。
2	ハン・ナショナル・ゲーミング	アメリカ	1.6%	消費者サービス	米国国内でカジノや競馬場などのギャンブル施設を運営する企業。国内のカジノ業界での強固なポジションやコスト管理が徹底された体制を評価。スポーツ(じや)やインターネットカジノなどの自由化により更なる収益拡大の機会にも期待。
3	スキースター	スウェーデン	1.5%	消費者サービス	北欧でスキーリゾートの運営や不動産開発を手掛けるスウェーデンの企業。同社の戦略実行力や堅調な稼働率から今後の安定成長を見込んでいる。新空港からのアクセスが良い強みや、スウェーデンのリゾート地の人気の高まりも事業の追い風と考えている。
4	アクソナ	スペイン	1.2%	公益事業	スペインのコングロメイト企業。風力発電などの再生可能エネルギー事業の収益向上を見込んでいるほか、不動産事業や高速道路事業の売却など、経営陣による株主価値向上に繋がる事業ポートフォリオ見直しの動きを評価している。
5	インフィニティ・エナジー	オーストラリア	1.2%	公益事業	主に風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーの発電施設の開発・運営を行うオーストラリアの企業。特に、風力発電に強みを持ち、国内で競争力のある地位を確立。再生可能エネルギーへの移行が進む中で、今後の成長に期待。
6	ソテック	フランス	1.1%	半導体・半導体製造装置	フランスの電子素材メーカー。低消費電力型半導体チップ向けのシリコンウエハ(SOI基板)の製造を強みとしている。IoT、スマートフォン、データセンター、車載用途など、省電力型半導体チップの需要と応用範囲は増加傾向にあり、同社の収益の伸びに期待している。
7	X-FABシリコンファウンダリー	フランス	1.1%	半導体・半導体製造装置	世界各地で事業を展開する半導体製造企業。アナログ半導体やアナログ・デジタル混在の半導体チップの製造に強みを持つ。主に自動車、産業、医療分野を対象に製品の提供を行う。同社の製品の質や顧客ロイヤリティの高さを評価。中長期的な成長性に対し、株価は魅力的な水準と判断し、保有。
8	ラティセコダクター	アメリカ	1.1%	半導体・半導体製造装置	米国の半導体製造企業。特に、内部の機能を自由に変更できるプログラマブル・ロジック・デバイスの開発に強みを持つ。データセンターや、自動運転、5G分野向けの低消費電力の製品の提供に注力しており、各分野の市場の拡大とともに今後の成長が期待できる。
9	スカテック・ソーラー	ノルウェー	1.1%	公益事業	世界で太陽光発電のプラント開発を手掛けるノルウェーの企業。特に新興国での開発に強みを持つ。ヨーロッパにおける二酸化炭素の排出量削減を目指す「低炭素化」政策の推進による恩恵を享受することが期待できると判断し、保有。
10	Northern Data AG	ドイツ	1.1%	ソフトウェア・サービス	主に仮想通貨やブロックチェーンのユーザー向けにデータやITインフラの提供を行う企業。新興テクノロジー分野のニッチな市場で、著しい新規顧客の獲得に成功しており、着実に成長を遂げている点を評価。

※組入比率は、マザーファンド純資産総額を100%として計算した値です。
※業種は、GICS(世界産業分類基準)に基づきます。

■ファンドマネージャーのコメント

5月の世界の中小型株式市場(米ドル建て)は、上昇しました。米国では、トランプ大統領が中国に対し、新型コロナウイルス感染拡大の責任を追究、米中関係の更なる悪化が懸念されたことや、レジャー・娯楽や、空運、小売などの企業を中心に新型コロナウイルスによる経済停滞の影響から決算が市場予想を下回ったことなどを背景に、株式市場は軟調に推移する局面がありました。しかし、一部の製薬会社で抗新型コロナウイルスワクチンの開発が発表されたことや、各地で経済活動再開への期待が一段と高まったことが好感され、株式市場は月末にかけて上昇する展開となりました。大陸欧州では、米中関係の悪化が懸念されたことや、一部大手石油企業や自動車メーカーなどが市場予想を下回る決算を発表したことや業績見通しの引き下げを行ったことから下落する局面がありました。しかし、複数の国でロックダウンが段階的に解除され、経済活動が再開されたことに加え、治療薬の開発報道が相次いだことなどが好感され、株式市場は上昇して月末を迎えました。また、欧州連合(EU)による新型コロナウイルス対策としての復興基金創設への期待感も、支援材料となりました。英国では、EUとの通商交渉を巡る懸念が高まる局面や、イングランド銀行(BOE)のマイナス金利導入観測の高まりから収益悪化懸念が高まった銀行株を中心に株価が軟調に推移する局面がありました。国内で外出制限の段階的な緩和計画が発表され、経済再稼働への期待が一層高まったことから、株式市場は上昇する展開となりました。当運用チームでは、今後も、新型コロナウイルス、貿易摩擦問題、各国の景気動向、金融政策、政治イベント、商品価格などに反応しやすい市場展開を想定しています。新型コロナウイルスを巡る世界的な混乱については、引き続き注視が必要ですが、各国の政府は大規模な経済・景気対策を打ち出し、迅速に対応を施しています。実際に、各国で新型コロナウイルス感染者数は鈍化しており、経済活動も徐々に再開され始め、改善の基調が見られます。また、各国の中央銀行は、利下げや量的緩和策に踏み切り、景気動向を注視し、経済を支えるためにあらゆる政策手段を講じる姿勢を維持しています。今後、世界の株式市場は、不透明感が強く値動きの激しい展開が続くことが見込まれるものの、新型コロナウイルスの感染が更に収束していけば、上昇していくであろうと予想しています。当ファンドでは、有望な中小型成長銘柄を長期的視点で選別するとともに、個別銘柄とポートフォリオ全体におけるリスクの所在を慎重に把握したうえで運用を行っています。投資対象が豊富な世界中小型株式から、特定の分野における先端的な技術力や競争優位性、長期的視点に立った経営などに注目していきます。足元では、金融や資本財・サービス、情報技術セクターなどの景気敏感株に投資妙味が高いと考えており、これらの企業への投資に比重を置いています。今後とも、インベスコグループのグローバルな調査力を結集し、健全な財務基盤を有し、収益性が高く継続的な価値創造を行える企業より、バリュエーションが魅力的な中小型株式の発掘に努めて参ります。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、宜しくお願いいたします。

設定・運用はいちよしアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第426号

【加入協会】一般社団法人 投資信託協会 / 一般社団法人 日本投資顧問業協会

※このレポートの最終ページ「この資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご覧下さい。

追加型投信／内外／株式 いちよし・インベスコ 世界中小型成長株ファンド



ファンドの目的・特色

ファンドの目的

当ファンドは、複数のファンドに分散投資を行う、ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色

- この投資信託は、以下の指定投資信託証券への投資を通じて、主として、日本を含む世界各国の中小型株式を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。
・いちよし日本中小型株ファンド(適格機関投資家専用)
・インベスコ グローバル中小型株式ファンド(適格機関投資家限定)
- 投資信託証券への投資は、原則として高位を維持します。
実質的な投資割合は、国内の中小型株式30%、海外の中小型株式70%を基本とします。
- 海外株式の運用は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社が担当します。
インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
米独立系運用会社インベスコ・リミテッド(世界20カ国以上の拠点を資産運用サービスを展開)のグループ企業。

委託会社その他の関係法人の概要

委託会社	いちよしアセットマネジメント株式会社 (信託財産の運用指図等)
受託会社	株式会社りそな銀行 (再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	販売会社のご照会先は、以下をご参照ください。 (ファンドの募集・販売の取扱い等)

※投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは、以下の販売会社へお申し出ください。

金融商品取引業者等の名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会
いちよし証券(株)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第24号	○	○	
荘内証券(株)	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第1号	○		
大熊本証券(株)	金融商品取引業者 九州財務局長(金商)第1号	○		
三豊証券(株)	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第7号	○		
静岡東海証券(株)	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第8号	○		
(株)静岡中央銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第15号	○		

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 収益分配金は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、収益分配金の水準は、必ずしも計算期間中におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者のファンドの購入価額によっては、収益分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合があります。
- 収益分配金は、ファンドの純資産から支払われますので、収益分配金の支払後の純資産は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に収益分配金の支払を行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比較して下落することになります。

設定・運用はいちよしアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第426号

【加入協会】一般社団法人 投資信託協会 / 一般社団法人 日本投資顧問業協会

※このレポートの最終ページ「この資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご覧下さい。

投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、主に投資信託証券への投資を通じて、実質的に内外の株式への投資を行いますので、組入れた有価証券の値動きにより、当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。
したがって、当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預貯金とは異なります。預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
※以下の事項は、マザーファンドのリスクも含まれます。

価格変動リスク

・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
・新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

流動性リスク

・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
・新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

・一般に投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

為替変動リスク

・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

カントリーリスク

・投資対象国における非常事態など(金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

(ご注意)以上は、基準価額の主な変動要因であり、変動要因はこれに限られるものではありません。

追加型投信／内外／株式
いちよし・インベスコ 世界中小型成長株ファンド

愛称： **たよたよいろ**

お申し込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。
換金価額	換金(解約)申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、申込日の翌営業日がニューヨーク証券取引所またはロンドン証券取引所のいずれかの休業日に該当する場合には、購入、換金のお申込みができません。※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として換金(解約)申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
信託期間	原則として2027年9月28日まで(2017年9月28日設定)
決算日	毎年9月28日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回、毎決算時に、収益配分方針に基づいて収益の分配を行います。 ※販売会社との契約によっては再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA」の適用対象です。配当控除、益金不算入制度は適用されません。

ファンドの費用・税金

●ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に対し3.30%(税抜3.0%)以内
信託財産留保額	換金(解約)申込受付日の翌営業日の基準価額に対し0.3%

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に以下の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日(当該終了日が休業日の場合はその翌営業日)および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。		
	当ファンドの運用管理費用(信託報酬)(年率)	年 0.9680% (税抜 年 0.88%)	
	配 分	委託会社	年 0.2750% (税抜 年 0.25%)
		販売会社	年 0.6600% (税抜 年 0.60%)
		受託会社	年 0.0330% (税抜 年 0.03%)
	投資対象とする投資信託証券※	年 0.7920% (税抜 年 0.72%)程度	
	実質的な負担	年 1.7600% (税抜 年 1.60%)程度	
その他の費用・手数料	監査費用、目論見書等の作成、印刷、交付費用および公告費用等の管理、運営にかかる費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、先物・オプション取引等に要する費用等が、信託財産より支払われます。 ※ これらの費用等は、運用状況等により変動するため、料率、上限額等をあらかじめ表示することができません。		

※この値は当ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を加重平均した概算値です。今後、実際の組入れ状況等によって±0.05%程度変動する可能性があります。

※上記、ファンド費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

●税金

税金は表に記載の時期に適用されます。

以下の表は個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

分配時	所得税および地方税	配当所得として課税	普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税	換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」をご利用の場合、毎年、年間120万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。
ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。また、未成年者少額投資非課税制度(ジュニアNISA)をご利用の場合、20歳未満の居住者などを対象に、年間80万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の場合は上記とは異なります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

この資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にいちよしアセットマネジメント株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。
- 当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ファンドは、主に国内株式および海外株式に投資を行いますので、国内株式および海外株式の価格変動等の影響により基準価額は上下し、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- ファンドに生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断下さい。
- 市況動向、資金動向その他の要因等によっては、ファンドの特色に合致した運用ができない場合があります。

設定・運用はいちよしアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第426号

【加入協会】一般社団法人 投資信託協会 / 一般社団法人 日本投資顧問業協会